

曲に合わせ、知的障害のある女性や子どもたちが優雅に舞う。腰を曲げて稲刈りを、くるりと回り風を表現した。北九州市八幡西区の西部障害者福祉会館。日本舞踊英流の名取、新富智子さん(55)は曲を流し、彼女たちの頭に浮かんだ情景や感情を聞き、振り付けする。「慈善なんて大



障害者や保護者に踊りを指導する新富智子さん(左)

クサキ解剖

コンパクトジティを目指して

げさなのは嫌い。みんな踊りを教えている新富さんと踊るのが、ただ好きな。黒崎地区の繁華街にあるスナック「コロン」だけよ」と話す。

毎週土曜日、知的障害者や保護者など十数人にもある。「花の金曜日」

共生

自然体で楽しみ合う

よると、全国で法定雇用率を達成した企業は45・3%(2011年6月1日時点)。新富さんの教えて成人は全員、作業所や工芸所に通う。新富さんは「企業で働く教え子さんが増えれば、施設は他

の客を相手にすると帰宅は午前4時。寝不足をいわず午前10時から約2時間、同会館で指導にあたる。激しい動きもあるが、終始笑顔だ。

新富さんは、障害のある子どもの母親に頼まれて1994年から18年間、踊りを教え続けている。指導方針は「楽しく、あていつは礼儀正しく」。

新富さんが礼節を重んじてるのは、伝統芸能を教えているだけではない。教えるがコミュニケーション能力を身に付け、健常者も働く企業に就職してほしい、と願っているからだ。

障害者雇用促進法は、56人を超える従業員を抱える企業に1人以上(法定雇用率1・8%)の障害者を雇うように義務付けている。厚生労働省に

の客を相手にすると帰宅は午前4時。寝不足をいわず午前10時から約2時間、同会館で指導にあたる。激しい動きもあるが、終始笑顔だ。

新富さんは、障害のある子どもの母親に頼まれて1994年から18年間、踊りを教え続けている。指導方針は「楽しく、あていつは礼儀正しく」。

新富さんが礼節を重んじてるのは、伝統芸能を教えているだけではない。教えるがコミュニケーション能力を身に付け、健常者も働く企業に就職してほしい、と願っているからだ。

障害者雇用促進法は、56人を超える従業員を抱える企業に1人以上(法定雇用率1・8%)の障害者を雇うように義務付けている。厚生労働省に

街ひと物語

和美さんは17歳のと、同じく「コロン」で踊りを教えている。和美さんは、曲が始まると、全国の法定雇用率を達成した企業は45・3%(2011年6月1日時点)。新富さんの教えて成人は全員、作業所や工芸所に通う。新富さんは「企業で働く教え子さんが増えれば、施設は他